

一人ひとりに
寄り添う政治を。

そ世
田谷
ち谷

世田谷区議会議員

無所属

つるみけんご

通信
vol.15

世田谷から未来を変える。

特定の団体や企業のためではなく、しがらみのない立場で、本当に困っている人の声を受け止められる”一人ひとりに寄り添う政治”の実現を目指して「つるみけんご」は、活動を続けます。

つるみけんご 鶴見健悟プロフィール

- 1986年(昭和61年) 10月12日生まれ 35才
 - 世田谷区立駒沢保育園、駒沢小学校、駒沢中学校、東京農業大学第一高等学校、東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科卒
 - JA東京中央会 元職員
 - 衆議院議員 長妻昭 元秘書
 - 公務員試験専門 喜治塾 元講師
 - 世田谷区議会議員に初当選(得票数4,491票)
- 企画総務常任委員会、DX推進・公共施設設備等特別委員会に所属



つるみけんごは
“認知症サポーター”です！

このたび、「つるみけんご通信」をお手に取って頂き、誠にありがとうございます。

本通信では、令和3年9月から12月にかけて行われた「世田谷区議会令和3年第3回定例会および第4回定例会」における質疑等の内容をまとめました。お読みいただけましたら、幸いに存じます。

新型コロナウイルスの関連情報は裏面へ



世田谷区議会
インターネット議会中継

つるみけんごの
会議の録画映像を
ご覧いただけます。

質問

新型コロナワクチン接種の予約、今度こそ待たずに予約できますか？

～区民の皆様をお待たせしない予約受付体制の構築を～

質問の趣旨

令和3年春頃の新型コロナワクチン1・2回目接種の予約時には、電話が繋がらない、予約システムにアクセスできないという状態が長く続き、結果として区民の皆様を長時間、さらには数日間に渡ってお待たせするという事態が起きてしまいました。

今後予定されているワクチン接種の予約受付体制の整備にあたり、区として前回の予約受付時のデータの集計・分析の結果をどのように活かされたのか、今回は区民の皆様をお待たせしない体制となっているのか、区としての想定を問いました。

区の答弁

今回発送する1回あたり2万人程度の方の電話予約は概ね1日程度でご予約いただけるもの

と想定している。まちづくりセンターでの予約支援など、様々な対策を組み合わせ、区民をお待たせしない受付体制を整える。



つるみけんごコメント



区が、今回用意する電話回線は最大150回線です。区の想定は甘いのではないかとこの疑念を持たざるを得ません。この答弁に対し、改めて区の想定に対する検証を行い、その結果を区議会へ報告すべきと提言しました。

質問

区の窓口における“たらいまわし”はいつまで続くのですか？

～“たらいまわしゼロ行政”の実現を目指して～

質問の趣旨

区長は第4回定例会の開会にあたり、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進にあたり、「まず『区民に時間を返す』改革に着手する」と表明されました。

これまで議会で「たらいまわしゼロ」を目指すべきと提言してきた私(つるみけんご)としても、この改革の実現により、区民の皆様がこれまで膨大な時間を割かざるを得なかった各種手続きや移動などが合理化され、オンライン対応はもとより、対面においても最も身近な行政拠点であるまちづくりセンターに行けば、ワンストップサービス、つまりは「たらいまわしゼロ」の行政サービスが受けられるようになるものと期待しております。

この度の質疑では、区長のおっしゃる「区民に時間を返す改革」の定義に、ワンストップサービスの実現、つまりは「たらい

まわしゼロ行政」の実現が含まれるという理解で良いか、区の見解を問いました。

区の答弁

「たらいまわし」とならないことを含め、区民の視点に立った行政システムの変革を目指す。



つるみけんごコメント

今回の答弁で、区は明確に「たらいまわしにしない変革」を目指すことを表明されました。これまで区民の方から「たらいまわしにされた」というご相談を幾度となく頂いておりました。この「区民に時間を返す改革」を機に、「たらいまわしゼロ行政」が実現するよう引き続き、区民の皆様の視点に立った提言を続けてまいります。

質問 子どもの育ちを支える「児童館」は、なぜ全ての地区にないのですか？

～示されない児童館未整備地区解消へのスケジュール～

質問の趣旨

区の「公共施設整備等総合管理計画(案)」では、児童館の未整備地区(地区内に児童館がない地域)について「計画的な整備を行う」との方針が記されています。しかしながら、委員会における私(つるみけんご)と区側とのやり取りの中で、具体的な年次計画がないことが明らかとなりました。

世田谷区の子ども計画において、児童館は「地区ネットワークの中核」と位置付けられていますが、現在区内の8地区において未整備(設置されていない)の状態となっています。私の育った上馬地区(上馬・駒沢)もその一つです。

児童館を「地区ネットワークの中核」と位置付けるのであれば、どこの地区で育つ子ども達に対しても同様に、児童館という「育ちの場」を提



供するのは区の責務であるはずで、実効性のある年次的な整備計画を早急に策定し、未整備地区解消に向けた道筋を区民の皆様様に明らかにすべきと提言し、区の見解を問いました。

区の方針

できるだけ早期に整備計画の方向性をまとめお示しできるよう、検討を加速する。



つるみけんごコメント

今回の区側とのやり取りで、計画と実態が乖離していることが明らかになりました。児童館は子ども達が安心して遊べる貴重な場です。一部の地区の子ども達だけではなく「すべての地区の子ども達」にとって大切な「育ちの場」が提供されるよう、今後も提言を続けてまいります。

質問

子ども達の体力が低下しています。心配です！

～子ども達の体力向上に向けた取り組みの強化を～



質問の趣旨

全国的に子どもの体力低下が指摘される中、世田谷区の子どもの体力は、全国平均に比べて、さらに低い状況にあります。特に男子児童・生徒については、小学校1年生から中学校3年生まで、体力調査におけるほぼすべての項目で全国平均を下回っています。(平成30年度世田谷区「児童・体力調査報告書」による)

コロナ禍により運動・外出・外遊びの機会が減少したことで、さらなる体力の低下が心配されます。教育委員会として子ども達の「体力向上」の取り組みの強化、充実を図るべきと提言し、

見解を問いました。

教育委員会の答弁

コロナ禍前と比較し、わずかな低下がみられる。子ども達の体力向上に向けた取り組みが推進されるよう指導していく。



つるみけんごコメント

今般のコロナ禍による体力低下がみられることを鑑みると、「子どもの体力向上」は、これまで以上に一層重要な教育テーマとなるはずで、引き続き、子ども達の将来にわたる健康を守るため、体力向上の取り組みの強化を求めてまいります。

質問

認知症による踏切事故等の損害は誰が負担すべきでしょうか？

～「認知症損害賠償保険補償制度」創設を目指して～

質問の趣旨

認知症の方も安心して外出できるまちを目指し、これまで何度も議会で「認知症損害賠償保険補償制度」の必要性を訴えてきました。その間、全国では多くの自治体が制度を導入しています。改めて、区としての検討の進捗について問いました。

区の方針

認知症施策評価委員会において議論を深めながら、区として検討し、認知症の方が安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めていく。



つるみけんごコメント

他自治体に比べて検討の速度があまりにも遅すぎます。しかし、訴え続けてきた制度の検討が少しでも前に進んだことは率直に良かったと感じています。これからどのような議論・検討がなされるか引き続き注目し、制度導入に向けて全力で取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症

発熱や咳・痰、全身のだるさなどの症状がある方は、まずは「かかりつけ医」に電話でご相談ください。

「かかりつけ医」がない、相談する医療機関に迷う等の場合

世田谷区発熱相談センター
TEL.03-5432-2910
受付時間 平日8:30～17:15

東京都発熱相談センター
TEL.03-5320-4592
受付時間 24時間対応



症状はないが不安がある等の一般的な新型コロナウイルスに関するご相談

世田谷区新型コロナウイルス相談窓口
TEL.03-5432-2111
受付時間 平日8:30～17:15

新型コロナワクチン

予約・予約の取り直し、その他のお問い合わせは

世田谷区新型コロナワクチンコール
☎ 0120-136-652

受付時間 平日8:30～20:00・土曜、日曜、祝日8:30～17:30
最新情報は、世田谷区コロナワクチン(住民接種担当部)の公式Twitterアカウント、または区のHPからご確認ください。

「心の相談」はこちらから心の悩みを抱える方が増えています。

1人で悩まず、お気軽に世田谷区までご相談ください。保健師の相談も記載しています。



コロナ後遺症はこちらから後遺症に悩む方はお気軽にご相談ください。

療養期間終了後も何らかの症状が残っている方はご相談ください。「コロナの後遺症について」とお申し出ください。

世田谷区コロナ後遺症相談窓口
TEL.03-5432-2910
受付時間 平日8:30～17:15

